

令和元年9月 東京地区百貨店売上高概況

令和元年10月23日

I. 概況

1. 売上高総額	1,434億円余
2. 前年同月比	20.7% (2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭20.9%(91.6%) : 非店頭19.0%(8.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (令和元年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	834,828㎡ (前年同月比:-0.8%)
6. 総従業員数	17,016人 (前年同月比:-4.0%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 -0.2%、3-5月 -0.6%、4-6月 -1.2%、 5-7月 -1.9%、6-8月 -0.1%、7-9月 7.0%

[参考] 平成30年9月の売上高増減率は0.3%

【特徴】

- (1) 9月の東京地区売上高は、全国同様、月後半の駆け込み需要から高額品を中心に高伸した他、各社が実施したイベントや販促策も盛況で、20.7%増(2か月連続)となった。台風による営業時間短縮などマイナス与件もあったが、一部店舗では改装効果も見られ、入店客数も0.4%増と2か月連続でプラスした。
- (2) 商品別では、前月に続き主要5品目全てにおいて前年をクリアした。美術・工芸品、宝飾、時計、眼鏡など高額品が牽引した雑貨は43.1%増と大幅に伸長し、化粧品、ゴルフ用品も好調に推移した。身のまわり品(24.4%増)はラグジュアリーブランドのハンドバッグ、アクセサリ、パンプス、ショートブーツ、スニーカー、ビジネスシューズ、カジュアルシューズなどが高い伸びを示した。
- (3) 衣料品(18.2%増)は、コート、ダウン、ブルゾン、ジャケット、スーツ、フォーマル、ワンピース、肌着、呉服、寝具が好調で、家庭用品(22.6%増)では、家具、家電の他、調理用品やスリッパなどその他家庭用品も大きく動いた。
- (4) 食料品は、1.7%増と堅調に推移した。鮮魚の不漁や、青果の天候不順による価格高騰などから生鮮食品はマイナスしたものの、物産展など食品催事が活況だった他、軽減税率対象外のワインや和洋酒ではまとめ買いも見られた。
- (5) 10月中間段階の商況は、駆け込み需要の反動や台風による休業などから25.8%減(10/17)で推移しているが、今後、各社とも人気催事や会員向優待策など、様々な集客策を展開することとしている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 8店、③減少した: 7店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、彼岸)の売上(同上/有効回答数14店舗)
①増加した: 5店、②変化なし: 8店、③減少した: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2019年9月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	143,428,939	100.0	20.7
紳士服・洋品	10,289,906	7.2	16.2
婦人服・洋品	25,257,037	17.6	17.2
子供服・洋品	2,324,034	1.6	5.0
その他衣料品	3,191,336	2.2	51.4
衣 料 品	41,062,313	28.6	18.2
身のまわり品	21,732,003	15.2	24.4
化粧品	17,248,237	12.0	20.1
美術・宝飾・貴金属	17,780,708	12.4	104.1
その他雑貨	5,681,329	4.0	5.8
雑 貨	40,710,274	28.4	43.1
家具	2,108,692	1.5	29.4
家電	711,030	0.5	65.2
その他家庭用品	3,651,450	2.5	13.5
家庭用品	6,471,172	4.5	22.6
生鮮食品	3,879,560	2.7	-3.5
菓子	6,834,365	4.8	1.0
惣菜	6,150,680	4.3	1.4
その他食料品	9,139,144	6.4	4.7
食 料 品	26,003,749	18.1	1.7
食堂 喫茶	2,734,424	1.9	0.8
サ ー ビ ス	2,060,628	1.4	11.2
そ の 他	2,654,376	1.9	-4.1

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,705,750 千円	-6.1
従業員数	17,016 人	-4.0
店舗面積	834,828 m ²	-0.8
営業日数	30.0 日	前年 30.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が8か月連続、家庭用品、食料品が3か月連続、衣料品、身のまわり品が2か月連続のプラスと、全品目がプラスとなった。その他の品目は、菓子が13か月連続、美術・宝飾・貴金属が8か月連続、惣菜が7か月連続、家電が4か月連続、子供服・洋品が3か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、その他衣料品、化粧品、その他食料品が2か月連続、家具が2か月ぶり、その他雑貨が8か月ぶり、その他家庭用品が15か月ぶり、全国同様生鮮食品を除く各品目がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	20.7	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	16.2	1.2	2か月連続プラス
婦人服・洋品	17.2	3.1	2か月連続プラス
子供服・洋品	5.0	0.1	3か月連続プラス
その他衣料品	51.4	0.9	2か月連続プラス
衣料品	18.2	5.3	2か月連続プラス
身のまわり品	24.4	3.6	2か月連続プラス
化粧品	20.1	2.4	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	104.1	7.6	8か月連続プラス*
その他雑貨	5.8	0.3	8か月ぶりプラス*
雑貨	43.1	10.3	8か月連続プラス
家具	29.4	0.4	2か月ぶりプラス
家電	65.2	0.2	4か月連続プラス
その他家庭用品	13.5	0.4	15か月ぶりプラス
家庭用品	22.6	1.0	3か月連続プラス
生鮮食品	-3.5	-0.1	12か月連続マイナス*
菓子	1.0	0.1	13か月連続プラス*
惣菜	1.4	0.1	7か月連続プラス*
その他食料品	4.7	0.3	2か月連続プラス*
食料品	1.7	0.4	3か月連続プラス
食堂喫茶	0.8	0.0	13か月ぶりプラス
サービス	11.2	0.2	2か月連続プラス
その他	-4.1	-0.1	3か月連続マイナス
商品券	-6.1	-0.1	12か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>